

2026 年 1 月 31 日

各位

日本航空宇宙学会 関西支部 研究分科会
「航空宇宙産業の革新」
代表 吉河 章二

2025 年度の第 3 回研究分科会を以下のように開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。ざっくばらんにお話をいただけると存じます。ご多忙のことと存じますが、ご興味のある多数の皆様のご参加をお待ちいたします。

記

2025 年度 第 3 回研究分科会（航空宇宙産業の革新）

日時：2026 年 2 月 18 日（水）16:30～18:00 （質疑込み）

会場：オンライン（Teams）

ミーティングリンクは、後日、参加申込者にお知らせいたします。

参加登録：下記の Google フォームから参加登録をお願い致します（申込〆切 2 月 16 日）。

参加費は無料です。 <https://forms.gle/qycUreyTgrsWDn6j9>

講演題目：小型合成開口レーダ衛星による新たなビジネスと、AI 時代における「設計」

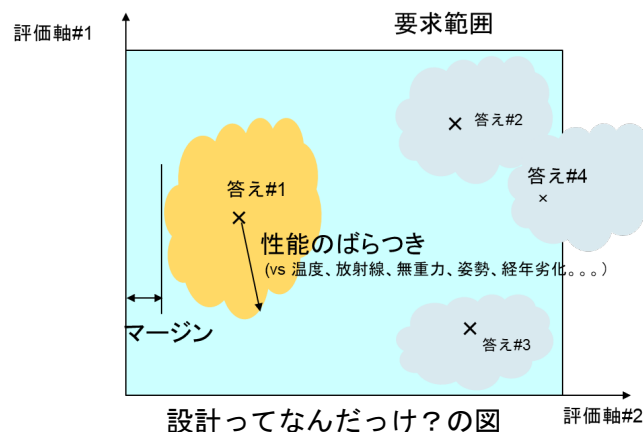
講演者：Synspective Inc.

取締役 兼 Distinguished Chief Engineer

小畑 俊裕（おばた としひろ） 様

講演概要：

Synspective は 30 機の衛星によるコンステレーションを構築し、衛星画像データとデータ解析結果を提供する会社である。本発表では、講演者の大企業・大学・ベンチャーでの経験に基づき、「設計」という作業について見つめなおす。従来の設計は、システムズエンジニアリングに基づき、解作成やトレードオフを重視するプロセスだった。しかし、解析能力向上や AI 導入により、不明確なプロセスながら設計解の生成が可能になっている。この状況下において、設計者が向き合うべき本来の目的は何か。技術的な「設計」の本質を掘り下げることで、改めて設計とは何か、さらには「人生における設計とは」について考察する。



以上